



新たなエネルギーでまちづくり

# Hydrogen Town Namie

浪江町は、2050年CO2排出量実質ゼロを目指して2020年3月5日 ゼロカーボンシティを宣言。  
世界最大規模の水素製造能力を備える実証研修施設「福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)」をオープンし、浪江産水素を活用した新しいエネルギー社会のモデル「水素のまちづくり」を、多様な企業と連携して進めています。  
原子力で被災した町は、新たなエネルギー「水素」を中心に、再生可能エネルギーによるスマートコミュニティやエネルギーの地産地消などを加え脱炭素化社会に向けて大きく前進しています。



## 水素のまちづくり Action

水素を「つくる」「つかう」「はこぶ」から、普及啓蒙まで。  
水素による、新たなまちづくりに向けて、浪江町では、多彩な取組や実証実験がスタートしています。

### Action 1



純水素燃料電池導入  
「道の駅 なみえ」

水素利用のシンボルとして、FH2Rでつくられた水素を活用する道の駅が2020年にオープン。東芝製の純水素燃料電池(容量3.5kW)を設置し、施設の電力や熱源の一部として活用します。

●パートナー | 東芝エネルギーシステムズ株式会社

### Action 2



水素も活用した  
「RE100産業団地構想」

環境負荷低減に係る国際的潮流の中で注目を集める「RE100\*」。地域新電力等からの再生可能エネルギーに加え、FH2Rの水素も活用することで、エネルギーの高効率利用、環境負荷低減を実現します。

●パートナー | 国際航業株式会社  
\*RE100 | 企業が自らの事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアティブ

### Action 3



工場の  
ゼロエミッション化FS

工場内外に水素発電機や純水素燃料電池を導入し、グリーン水素を効率的に「はこび」「つかう」ことで、工場のゼロエミッション化を実現できないか、エネルギー効率および経済性の観点から調査しています。

●パートナー | EY Japan/株式会社バイオマスレジソホールディングス/相馬ガスグループ/株式会社スマートアグリ・リレーションズ

### Action 4



新型ミライを  
公用車として導入

水素社会の早期実現に向け、国産車の中で最も走行距離が長い燃料電池自動車「新型ミライ」を公用車として導入。浪江産水素の利活用について幅広くPRしていきます。

●パートナー | トヨタコロラーいわき株式会社

### Action 5



水素輸送  
柱上パイプライン実証

水素を安全かつ安価に輸送するための最適なくみとして、上空にパイプラインを敷設して低圧の水素を送る実証。RE100 産業団地や町内への水素供給の事業化に向けて具体策の検討を進めています。

●パートナー | プラザー工業株式会社/横浜国立大学/株式会社巴商会

### Action 6



生協による  
水素配送実証FS

浪江町を中心に、福島県浜通り地域の一般家庭や商業施設等に純水素燃料電池を多数設置し、生協トラックによる配送・供給事業実施の可能性調査を行う。全国展開可能な水素サプライチェーン「浪江モデル」として確立させ、水素社会実現に寄与していきます。

●パートナー | 丸紅株式会社/みやぎ生協

### Action 7



低コスト水素サプライチェーン  
実証事業

FH2R産水素を利用する業務用純水素燃料電池の普及拡大を図るため、トレーラーやカードル巡回型の低コストな水素サプライチェーン構築を目指す。公共温浴施設や介護施設、復興事業現場等に熱電併給し、多くの人にPRしていきます。

●パートナー | 株式会社大林組

### Action 8



マルチ水素ステーションの  
整備

様々なFCモビリティへの水素充填を可能とすることでFCモビリティ導入を加速させます。また、エネルギーのハブとして、平常時のみならず災害時に近隣へのエネルギー供給を行う等の事業可能性の調査を同時に行っています。

●パートナー | 住友商事株式会社

### Action 9



関係人口を増やす  
脱炭素ツーリズムFS

脱炭素および水素利活用を切り口としたツーリズムを検討/実施し、関係人口拡大を目指します。教育プログラムの策定や県内高校生も巻き込んだ情報発信、脱炭素ツーリズムに資するFCモビリティの開発/運用についても検討する予定です。

●パートナー | 株式会社野村総合研究所/郡山観光交通株式会社/食大学/孫の手トラベル

## 2050 ゼロカーボンシティに向けて

「水素社会実現の先駆けとなるまちづくり」の取組に加え、再生可能エネルギーの積極的な推進やスマートコミュニティの実現で、2050年、浪江町は二酸化炭素排出実質ゼロに向けて、より一層加速していきます。

### 浪江産水素を活用したまちづくり

町内で水素を利活用し水素社会の実現に向けたモデル地域を構築します

#### スマートコミュニティの構築

再生可能エネルギーを最大限活用し、エネルギーと人がつながる新しい暮らしを構築します

- 「道の駅 なみえ」にて再生可能エネルギーの管理/見える化
- EVの駅 導入として配備し、移動電源として活用
- 町内へのEV充電環境の整備

Zero  
Carbon  
Namie

#### 再生可能エネルギー産業の誘致/連携

- リチウムイオン電池再生事業者
- バイオマス発電事業者
- バナジウム電解液製造事業者
- 風力発電事業者
- メガソーラー発電事業者

#### 低炭素型社会への寄与

- 町立小・中学校での再生可能エネルギー教育の実施
- EV公用車の導入
- 庁舎改修時の省エネ対応設備導入
- 低炭素型社会対応型浄化槽設置費用の補助 等

#### 再生可能エネルギーの導入推進

- 学校、公共施設への太陽光発電設備の設置
- 太陽光発電一体型LED防犯灯の整備
- 町営住宅への太陽光発電設備の導入
- 自家消費する太陽光発電設置費用の補助 等